

「飯館村 わたしの記憶」「シェーナウの想い」の2本立て上映会

原発事故の 『記憶』 ふるさとの 『未来』

上映会
(映画2本)
資料代等
500円

原発事故の記憶を語り継ぐための上映会です。
「飯館村 わたしの記録」「シェーナウの想い」
2本のドキュメンタリー映画を見て、私たちの
選びたい未来について考えてみませんか？

日時

2019年3月9日 | 土 |

- 10:00～「飯館村 わたしの記録」(託児有 要連絡)
- 11:30～「シェーナウの想い」(託児有 要連絡)
- 13:00～みんなで語ろう！トークカフェ
「エネルギーを選ぶ」
- 14:40～「飯館村 わたしの記録」
- 16:10～「シェーナウの想い」
- 17:20～みんなで語ろう！トークカフェ
「原発事故から8年」
- 18:30～「飯館村 わたしの記録」
- 19:50～「シェーナウの想い」

場所

さざんか会館 1F アクティブとっとり
(鳥取市富安2丁目104-2) 駐車場あり

主催:えねみら・とっとり(エネルギーの未来を考える会) / 脱原発しよいや in とっとり
問い合わせ先: 080-6173-1318(山中)託児の方は3/5までに申し込んでください

原発事故の『記憶』とふるさとの『未来』 を考えるのための ドキュメンタリー2本

「飯館村 わたしの記録」(2013年)(68分)

撮影・監督 長谷川健一

福島県飯館村(※1)。原発事故後、6200人もの住民が村を追われ避難生活を強いられた。飯館村で酪農家として家族と共に暮らしてきた長谷川健一さんは、当事者の目線で自らの体験を伝えたいと、ビデオカメラを購入。独学で撮影を始めた。

本作品は、2011年4月23日から8月23日までの4か月間に撮りためられた約37時間に及ぶ映像を68分にまとめたもの。

※1 飯館村 福島第一原発から30～50kmの村。

「シェーナウの想い

～自然エネルギー社会を子どもたちに～」(2008年)(60分)

監督: フランク・ディーチェ ヴェルナー・キーファー

この映画は、ドイツ南西部、黒い森の中にある小さなまちシェーナウ市(※2)の住民グループが、チェルノブイリ原発事故をきっかけに「自然エネルギー社会を子どもたちに」という想いから、ドイツ史上初の「市民の市民による市民のための」電力供給会社を誕生させるまでの軌跡を綴るドキュメンタリー。

※2 シェーナウ市 ドイツ連邦共和国

各映画は3回ずつ上映します。(どこから参加しても自由!)

2本の映画の合間には、お茶を飲みながら映画の感想などおしゃべりできるトークカフェも開催! どなたでもお気軽にご参加ください。

トークカフェ①

話題提供者: 鳥取県で初めて市民共同発電所づくりを手がけた
手塚智子さん(市民エネルギーとっとり)

トークカフェ②

話題提供者: 原発事故直後から、鳥取に避難してきた方々の相談に
のってきた川西清美さん(とっとり震災支援連絡協議会)

